



【上】 参列者の拍手で送り出される、朝市便の商品配達用の軽ワゴン車【左】「今後は若者や元気な高齢者が買い物を楽しめる商店街づくりを」と、式典であいさつをする浦会長【下】会員に配られたカタログ。掲載された商品の中から、必要なものを選び注文すると、自宅に配達される



大豆を使った新製品の柳川まめマヨ（左）とご飯の大関

商店街の商品をカタログで選び自宅に配達

なかしま朝市便

10月22日に開業式典

開業当初の登録会員は138人
市老人クラブ連合会も会員募集に協力

中島商店会が運営する「なかしま朝市便」が10月23日から会員宅への商品の配達を開始し、その前日の22日に朝市便宅配センター前で開業式典を行いました。

なかしま朝市便は、買い物に行くのが難しくなった高齢者や体の不自由な人などに会員になってもらい、カタログで注文を受け、それを会員宅に配達する仕組みです。買い物弱者と呼ばれるこれらの人たちの生活を支援するとともに、商店街を活性化する狙いもあります。

取り扱う商品は商店会に加盟している31店舗が納品。野菜や果物、鮮魚、精肉の生鮮品はもちろん、総菜や和洋菓子、日用品、雑貨など、日常生活を送る上で必要な品物のほとんどがそろっています。

会員の募集は9月から行い、新聞や市報に募集記事を掲載したほか、市老人クラブ連合会に協力を依頼し、会員にチラシ3000枚を配布。この結果、開業時には138人の会員を確保できました。

式典のあいさつで中島商店会の浦善信会長は「朝市便に取り組むことで、買い物弱者の力になれたと思う。今後は若者や健康なお年寄りに、買い物楽しさを感じてもらえるような商店街づくりを進めていきたい」と意欲を見せました。

なお会員の募集は随時行っています。会員の登録は無料ですので、お気軽に朝市便事務局にご連絡ください。

申し込み、問い合わせは、朝市便事務局（☎ 76・3190）まで。

JA 柳川が柳川産大豆を使った新商品販売

JA 柳川は、県内一の生産量を誇る大豆を使った「柳川まめマヨ」と「ご飯の大関」を開発し、今月から販売を開始します。柳川まめマヨは卵の代わりに豆乳を使ったマヨネーズ風ドレッシング。コレステロールがほとんど含まれず、健康を気遣う人にぴったりです。一方のご飯の大関は、大豆とオクラ、ノリを甘辛く炊き合わせた商品。ご飯との相性が抜群です。商品の開発が琴奨菊関の大関昇進と重なったため、大関をイメージしたパッケージです。両商品ともJA 柳川農産物直売所「ふれ愛の里」で販売中です。詳しくはJA 柳川営農企画課（☎ 76・5270）にお尋ねください。



【上】 西鉄柳川駅前を幻想的な明かりで彩る水郷冬螢（昨年）【左】 ゆりの会の皆さんが澄みきった音色のハンドベルの演奏を披露する【下】 ミニコンサートをするグラッド・ゴスベルシンガーズ



2011 ウィンターイルミネーション

水郷冬螢

11月19日から来年1月9日まで点灯

19日にはオープニングイベンを開催
今年は節電に十分配慮して実施

冬の西鉄柳川駅前をイルミネーションで彩る「水郷冬螢」が今年は11月19日から来年1月9日まで灯されます。今年は駅前に加え、中島商店街の駐車場入り口にも設置。合計で5万5000個の明かりが、年末年始のまちを幻想的に照らしめます。

オープニングイベントは19日の午後5時から西鉄柳川駅近くの高棟駐車場で開催します。三橋中学校ブラスバンド部の演奏で幕を開け、おもしろチンドン屋が会場周辺を練り歩き雰囲気盛り上げます。会場では先着200人に西鉄通り商店会で使える500円分の商品券をプレゼント。JAやながわが特産品の販売も行います。

点灯式は午後5時30分から。観光柳川キャンペーンレディ「水の精」らがスイッチを

押しイルミネーションを点灯させます。その後、「ゆりの会」のハンドベルの演奏と、グラッド・ゴスベルシンガーズのミニコンサートでムードを高めます。また午後6時過ぎからは来場者に無料でせんざいが振る舞われるなど、お得で楽しいオープニングイベントに、ぜひご来場ください。

なお、期間中のイルミネーションの点灯時間は、午後6時から午前0時までです。特に今回は東日本大震災の影響による電力不足に配慮し、電球のほとんどをLED電球にしたり、点灯期間も前年度と比べ10日間短くしたりして、消費電力の大幅な削減に努めています。

問い合わせは、柳川市商工会（☎ 73・5400）まで。

柳川情報の発信地「おいでメッセ柳川」 開店

市柳川ブランド推進室は12月3日、柳川商店街のマルシヨク跡地正面のマンションの1階に、柳川ブランドショップ「おいでメッセ柳川」を開店します。おいでメッセ柳川の名前の由来は、いらっしやいませの柳川方言「おいでめせ」と、ドイツ語の見本市や展示会を表す「メッセ」を組み合わせたもの。おいでメッセ柳川では柳川ブランドの認定品のほか、市内で生産される農水産物を使った商品を販売します。また、観光客が足を休めるための休憩施設や観光情報発信機能も持たせることにしています。

問い合わせは、同室（☎ 77・8722）まで。

